



広島県北広島町にある加計高芸北分校で先日、受験を控えた町内外の中学生たちが参加するオープンスクールがありました。私も体験授業の講師を務めることに。緊張しながら教壇に立ちました。

芸北分校には、「キャリア朝礼」という時間があります。受け持つNPO法人西中国山地自然史研究会がいろんな職種の人や地元で暮らす先輩を招き、生徒に話をする時間です。私もこれまでに1回、話したことがあり、高校生の皆さんが熱心に聞いてくれたのを覚えています。今回のオープンスクールは、そのキャリア朝礼の体験授業でした。

当日、青い体操服姿の高校生たちが庭木の剪定をしたり、草刈り機の刃を替えたりしていました。ゴンゴンゴンと音を立てて農作業用の運搬

体験授業で教壇に

幸せを紹介 緊張と喜び

車に乗ってやって来る生徒も。私の知っている高校の様子とは随分違います。ここでもう一度、高校生になって過ごしてみたい。わくわくした気持ちで眺めているうち、体験授業が始まりました。

農業の仕事のこと、狩猟のこと…。体験授業では日頃の生活を中心に話しました。最



加計高芸北分校のオープンスクールで、中学生たちに山暮らしの日々を語った

後に中学生が感想や質問を書いた用紙もいただきました。読むと「田舎暮らしをしたい」「ここに住んでみたい」という希望が多い一方で、こんな感想がありました。

「田舎は閉鎖的なイメージがあつて、生活していると疎外感を感じて不安になりそうなのイメージを持つこと得られる幸せに、ふと巡り合えるように思います。」

中学生の皆さんを見ていると、未来があふれているようです。一生懸命に向き合っている姿にうれしくなりました。私の話を聞いて、これからの北広島町での生活を少しでも想像してもらえたら…。心から願っています。

(農業・狩猟見習い 北広島町 北広島町)

これまでの連載は中国新聞デジタルで



※記事の掲載にあたっては、中国新聞社の許可をいただいています。